

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育目標が具現化され、静かな落ち着いたの中に活力のみなぎる学校 ○ かしこく・やさしく・たくましく、礼儀正しい子ども ○ 教職としての見識と指導力を高める向上心を持ち、同僚性の高い教員 		確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帯タイムや読書タイムなど、学力補充の時間を拡充する。 ○ 校内研究や「学力向上の手引き」を全学級で取り組み、日々の授業改善を行う。 ○ 家庭学習の内容を家庭へ提案しながら、学習に対する心構えが身に付くように支援する。
		基本的生活習慣の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶・清掃を基本的生活習慣の基本とし、次年度も月の生活のめあてに位置付ける。 ○ 月のめあての中間振り返りの取組を継続するとともに、中間において、具体的な姿での改善を図り、生活習慣を身に付けさせる。
		心の教育の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳や特別活動を中心に全校、学年、学級において「ことば」を大切にする取組を継続し、児童の主体性を図る。 ○ 教科指導の中に人権教育の視点を生かしながら、互いのよさを認め合える活動を設定する。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
確かな学力を育成する。	「考えの視覚化」を工夫した授業づくりを行い、児童アンケートで肯定的評価を8割以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えの視覚化」を取り入れた授業づくりを全学級で行った。自分で考えをもつことができたという児童は8割以上(81%)となった。 ○ めあての設定等、日々の授業の学習規律やチャレンジタイムにおける漢字や計算の練習に取り組んだ。学校全体での平均は漢字81点、計算83点であった。 ○ 家庭と連携して、家庭学習を充実させるために、年3回、「宿題ウィーク」を設定し、家庭との連携を進めた。宿題提出率は、学校平均で9割以上(95%)となった。 	
	学習規律、チャレンジタイム、ノート等の指導の充実を図り、「漢字力・計算力テスト」でクラス平均を90点以上にする。		
	家庭学習の点検・評価を確実に行うとともに「宿題・家庭学習の手引き」をもとに保護者と連携し、提出率を9割以上にする。		
	0		
挨拶、生活のめあて、清掃の指導を徹底する。	「やよいの挨拶」について継続的な指導とモデル児童の姿を通した指導を行い、児童アンケートで肯定的評価を8割以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年3回、挨拶に関係する月のめあてを学校全体で設定し、児童への指導を進めた。児童アンケートでは8割以上(85%)ができているという結果となった。 ○ 学校生活に関わる「月のめあて」を月ごとに設定するとともに中間振り返りを行うことで児童の意識向上を図った。児童による振り返りでは、8割以上(81%)ができたとの結果となった。 ○ 本年度はコロナ禍のため、状況をみながらの清掃活動となった。その中で、清掃に関する月のめあてを年3回設定することで、児童アンケートでは7割以上(78%)ができているという結果となった。 	
	月のめあてについて学級のめあてや中間・月末評価、達成率の視覚化等を徹底し、児童アンケートで肯定的評価を8割以上にする。		
	黙働清掃の指導を徹底し、児童アンケートで肯定的評価を8割以上にする。		
	0		
心の教育の充実を図る。	相手を尊重する言動の指導の充実を図り、言葉に関する児童アンケートの肯定的評価を7割以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふあふあ言葉の木」や「ふあふあ言葉の花(マリーゴールド)」の取組を学校全体で行った。児童アンケートでは8割以上(81%)ができているという結果となった。 ○ 定期的に教室や階段等の掲示物を更新するとともに、児童作品への丸付けやコメントを入れた。児童の肯定的評価は8割以上(85%)という結果となった。 ○ 道徳の授業研究を実施するとともに、研究授業をもとに道徳の学習の在り方を教職員で協議した。教師の肯定的評価は8割以上(85%)という結果となった。 	
	赤ペン入れや児童の関心を促す掲示など意図的な環境整備等により、自尊感情の肯定的評価を9割以上にする。		
	「特別な教科道徳」の授業研究など人権教育の指導の充実を図り、教師アンケートで肯定的評価を9割以上にする。		
	0		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が継続して学習に取り組んでいるおかげで、学力がついている。 ○ 「ふわふわことば」の取組など、言葉を大切にしながらお互いを認め合う取組は大切だと思う。 ○ 小学生が遅刻している姿を見る。不登校につながらないように対応を進めてほしい。 			